

# ゆりはま議会

第59号

平成30年8月1日 発行  
発行：鳥取県湯梨浜町議会



定置網漁開始  
東郷運動公園を整備  
一般質問～町政を問う～

4  
7  
9

「笑顔いっぱいのプールびらき」  
(まつざきこども園)

# 平成30年第3回6月定例会

# 全国区のイベントとして発信 ガストロノミーウォーキング大会を開催

平成30年6月定例会が、6月8日から15日までの8日間の会期で開催されました。

今定例会に提案された平成30年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された14議案すべて、原案のとおり承認及び可決しました。また、議員発議による決議1件と、国に提出する意見書2件も原案どおり可決しました。

## 補正予算

### ☆一般会計

歳入歳出それぞれ1億109万円を追加し、補正後の予算の総額を101億3109万円とする。

## コミュニティ活動に助成

・コミュニティ助成事業

140万円

宝くじ収入を活用して、南谷区のコミュニティ活動に必要な公民館のエアコン設置や除雪機の整備に対して助成する。

## 受入定員の変更

・太養保育園委託料

751万円

太養保育園の受入定員を、40名から30名へ変更したことともなう公定価格単価の変更により

委託料を増額する。

## 旅の新スタイル

・ガストロノミーウォーク事業補助金

98万円

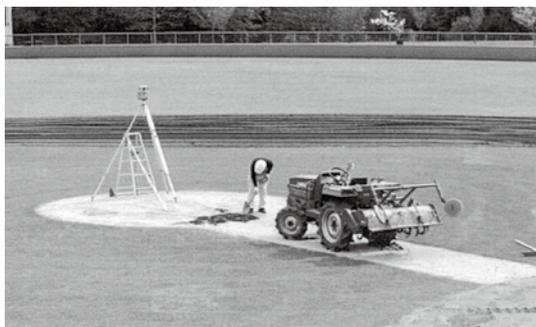
ANA（全日空）が全国で進めているイベントで、食と温泉と景観を楽しむウォーキング大会「ガストロノミーウォーキングin湯梨浜はわい温泉・東郷温泉（仮称）」を開催する事業費を実行委員会に補助し、全国区のイベントとして発信することにより、温泉の知名度向上や、特産品の認知度向上をはかる。

## 利用しやすい施設へ

・運動公園管理臨時経費

252万円

野球場の内野グラウンド改修工事、クラブハウスのロッカー室工



整備される内野グラウンド（東郷運動公園）

エアコン整備やサッカーゴールを追加購入して、利用の促進と環境整備を行う。

## プールの飛び込み台の改修

・小学校管理運営臨時経費

1246万円

羽合小学校をはじめとする町内3小学校のプールの飛び込み台の高さを、「子どものいのちと健康を守るための設備改善に関する陳情」を受け、日本水泳連盟のガイドラインに

## 外国人児童を受け入れ

・泊小学校管理運営経費

138万円

泊小学校で外国籍の児童を受け入れるため、児童支援員を追加配置して教育環境を整える。

沿って改修工事を行う。



飛び込み台を取り替えへ（羽合小学校）

## ☆温泉事業特別会計

東郷池内で傾倒している町有の1号源泉ポンプ施設の撤去工事は、漁業や環境などへの影響を考慮して設計を見直すため、設計委託料の増額による318万円の増額補正。

## ☆下水道事業特別会計

人事異動及び共済費の負担金率の変更などによる人件費の増額。流域下水道処理場負担金の減額、不明水対策として羽合第2処理区内の調査委託料の増額、県道東郷湖線の高上げ工事の延長による汚水柵移設及び、県道倉吉青谷線拡幅工事による汚水柵移設による増額など677万円の増額補正。

## ☆水道事業会計

人事異動及び共済費の負担金率の変更など

による人件費の減額。

また、羽合水源地の送水ポンプ電動弁の修繕費の増額、水道事業ビジョン及び管路耐震化更新計画策定業務の委託料の増額などによる1304万円の増額補正。

倉吉市との接続及び羽合・東郷間配水連絡管布設工事に係る水道ネットワーク事業を、合併特例債事業を適用することによる4170万円の増額補正。

## 条例改正

### 中小企業を応援

### ☆湯梨浜町税条例の一部を改正する条例

国の税制改正にともない、中小企業の生産

性の向上の措置として、市町村の導入促進基本計画に適合し、かつ、労働生産性を年3パーセント以上向上させることを認定を受けた中小事業者などが取得する、一定の機械装置などの固定資産税をゼロにするために改正を行う。

今年度から3年間の特例措置。

## 住所地特例の改正

☆湯梨浜町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

これまでは、国民健康保険で住所地特例を受け、前住所地の被保険者となっていた人が75歳に到達した際に、住所地特例が外れて現住所地の被保険者となっていた。

今回の国の法改正にともない、引き続き前

住所地の後期高齢者医療の被保険者となるため改正を行う。

## 設置基準などを追加

☆湯梨浜都市公園条例の一部を改正する条例

国の法改正にともない、都市公園内の運動施設の敷地面積の割合の上限を100分の50とし、都市公園の設置基準、公園施設の設置基準、許容建築面積の特例の追加などの改正を行う。

# 定置網事業開始 漁業活性化へ期待



大漁が期待される定置網漁

☆鳥取県漁業協同組合が取り組む、定置網漁業の設置費支援として、事業費6330万円のうち、県と町で半額補助として3165万円を計上。町内4人、町外1人が研修として従事。一年間雇用型研修事業として支援する。とれた魚は、基本は出荷。規格外は、朝市で販売する。

**問** 研修員は製網会社の社員となるのか。

**答** あくまで漁業協同組合の社員であり、漁協が研修事業に取り組まれる。

**問** 漁獲量に関係なく、固定給なのか。

**答** サラリー制で取り組まれる。

**問** 海の駅構想などの連動で、朝市開催の検討を。

**答** 県内では夏泊が行なっている。淀江や御来屋でも進めている。泊でも準備を進めている。

**問** これまでに定置網事業の実績はあるのか。

**答** 最初に始めたのは泊漁協。先進的なもので、株式会社で行ったが倒産した。高齢化を迎え、共同作業での手法が漁獲高も上がる、漁協が考えたようだ。

## 特定空き家 105件

☆105件を特定空き家と認定し、指導書を送付した。

**問** 指導書に対し無回答だったものは、個別対応で遠方にも出向くのか。

**答** 出向いて行く対応も取らざるを得ない。

**問** 危険度の高いものなど、優先順位を決めては。

**答** 現在は優先順位をつけていないが、今後考えていきたい。

**問** 栽培品種の割り当ては決まっているのか。

**答** 果実部でまとめている、すでに決まっております。



対応が待たれる特定空き家

## 松崎駅南梨団地に 7人が入植

☆工事も2年目に入り、造成工事を終え果樹棚を設置予定。平成31年10月をめどに、7人が入植する予定。

**問** 二十世紀梨をハウス栽培にする理由は。

**答** 収益性の高い団地をめざし、ハウス栽培を想定している。

# 安全安心ライフライン不安解消へ

☆安価で良質な飲料水を安定供給するために、水道事業ビジョン策定作業が進められている。

耐震化、水道料金への影響、財政など総合的に検討している。

また、新水源地を確保するため試掘を行っている。



新水源地試掘中（埴見地区）

**問** 試掘で予定の水量が確保できた場合、供給地域はどこを計画しているのか。

**答** 電気探査を4か所実施し、埴見地区が最も可能性が高い評価となり、揚水試験と水質検査を予定している。羽合地区へ供給する計画。

**問** 新しい水源地で、水量が賄えるようになれば、倉吉市との契約は解除するのか。

**答** 安定した供給という考え方なので、解除は考えていない。

**問** 水量が安定しなければ、現在試掘している水源地に見切りをつけるのか。

**答** 水量が安定しなければ、現在試掘している水源地に見切りをつけるのか。

**答** 6月末に試掘結果が出るが、供給量が足りない場合は、専門家と相談しながら検討する。

## 倉吉市との分水契約締結

☆倉吉市と4月26日に分水契約書を締結。分水量は、羽合地区に1日最大3000m<sup>3</sup>、東郷地区に500m<sup>3</sup>供給される。

8月に工事発注し、工期は5か月。完成後、速やかに送水できる体制にする。

## ガストロノミーウォーキングを支援

☆ANA（全日空）が全国で進めている、温泉地を舞台として伝統・歴史・文化を堪能しながらウォーキングするイベントを開催する。



ウォーキングでにぎわう東郷湖畔

**問** 主催はANA。町はどこまでかわるのか。

**答** 実行委員会を作り、補助金を出す。

**問** 宿泊に対して、何か支援はあるのか。

**答** 宿泊は個人負担であり、支援はない。

ANAには、国内線などでイベントをPRしていただく。

受診率向上へさらなる取り組みを

☆生活習慣病予防と高齢者の医療費抑制、国保の健全化を目標とする計画達成の説明を受けた。

**答** 現在協議を進めている。平成31年度から実施したい。

**問** 特定健診実施率は、目標値の半分以下で、PDCAができていない。成果を上げるため、ある程度改善した人には、褒美を出しては。

**問** 他の自治体の事例などを参考にし、受診率を高める方策を検討されては。

**答** 普段通院している病院での受診を、特定健診に切り替えるよう進めていきたい。

**問** 受診率の高い地区を公表するだけでなく、表彰もしては。

**答** 町報での公表以外にも、表彰することも検討したい。



早期発見で医療費抑制へ（町内集団検診）

**問** 特に中学校で不登校の人が減っているが、要因は。

不登校の解消へ

☆小学校では、本年3月末で3名、5月末では1名あり、中学校では、3月末で18名、5月末では3名の不登校となっている。

**答** 年度末で一旦リセットされ、4月から、新たに累積30日以上欠席した場合、不登校として扱つという基準があり、数字が少なくなっている。

また、昨年不登校が多かったのが、現在の3年生で、進学を意識し始めたということもある。相談室登校や、保健室登校も含めて、引き続きしっかりサポートしていく。

トイレ改修の状況は

☆羽合西コミュニティのトイレ改修では、排水管の再調査を行った。その結果、使用に問題ないと結論に達し、男女トイレ1か所ずつ洋式化する。

**問** 耐震改修すべきかどうかの議論もあるが。



改修されたトイレ（羽合西コミュニティ）

**答** 耐震改修については、継続協議を進めている。早急にトイレ改修を行いたい。

支援の内容は

☆泊小学校で外国籍の児童を受け入れるために、児童支援員を1名配置する。

**問** 受け入れる児童の学年は。どのような支援を考えているのか。

**答** 受け入れ児童はパキスタンからで、学年は4年生だが、日本語が理解できないので、4年生の学習は困難だと思つ。

日本語が理解できて、社会性を身につけるように支援をしていく。

## プール改修は必要か

☆町内3小学校のプール飛び込み台を日本水泳連盟のガイドラインに沿ったものに改修を行う。

**問** 学校での水泳授業では、飛び込みが禁止されている。改修の必要はないのでは。

**答** 県教委から、課外授業では、条件付きで容認する通知があった。ガイドラインに沿った施設としたい。

**問** 倉吉市では、通知後の指導で、事故が発生した。小学校では、全面的に飛び込みを禁止にすべきでは。

**答** 子どもたちがきちんと練習し、水泳大会に出場できるよ



町内小学校水泳大会（羽合小学校）

う、環境を整えたい。

**問** 改修工事の完成時期は、今夏に間に合うのか。

**答** メーカーの納期が最大3か月必要のため、間に合わない。

## 東郷運動公園の利用者増へ

☆ロッカールームのエアコンとサッカーゴール一對を整備し、公園利用者増をはかる。

**問** 指定管理者が行うものと、町が整備していくものと明確な基準があるのか。

**答** 1件当たり50万円以内は、指定管理者が行う。

**問** 町が当初整備したもののなら、50万円以上かかっても町が整備

備する必要があると思うが、今回のエアコンなど、新規要望については、どのように整備していくのか、基準を明確にすべき。

**答** 施設に必要なものは50万円にかかわらず整備することが基本。

基準については、検討を行いたい。

## 通学に支障はないのか

☆羽合地域から泊小学校に通学している児童は現在12名となっている。

**問** 現在、町社会福祉協議会のバスで通学しているが、来年度以降児童が増えれば、対応できなくなるのでは。

**答** 来年度の状況調査を行い、バスの

購入なども検討する。

## 学校運営協議会の設立状況は

☆第2次湯梨浜町教育振興基本計画に基づき、5つの重点目標と施策をまとめた平成30年度版を作成した。

協議会の議事録の公表はどのようなのか。

**答** 羽合小学校以外は、すべて設立しており、同校も六月には立ち上げる。議事録や学校経営方針は、各校ホームページに掲載する。

**問** 学校運営協議会は、小中学校はすべて設立したか。



町外利用者が多い東郷運動公園

## 請願・陳情 審査結果

常任委員会に付託した請願及び陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件名	請願・陳情者	審査結果
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願	ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会代表 鳥取県原爆被害者協議会 会長 田中 一朗	採択 全会一致 (国に意見書を提出)
憲法9条改定の取組みの中止を求める意見書採択の要請について	湯梨浜9条の会 代表 信原和裕	継続審査
地方財政の充実・強化を求める陳情	湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 村岡正憲	採択 全会一致 (国に意見書を提出)

## 本会議での採決結果

議案の内容 (○：賛成 ×：反対)	松岡	浦木	光井	会見	米田	寺地	上野	濱中	増井	竹中	河田	結果
平成30年度湯梨浜町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	賛成9人可決
平成30年度湯梨浜町温泉事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	賛成7人可決

※議案の採決は、入江議長を除く11人で行います。

※上記以外の12議案は全会一致で可決及び承認しました。

# 一般質問 町政を問う

6月定例会では、7人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問者	質問事項	ページ
竹中 寿健	1. 町営住宅（ミドーレイク）計画の再検討を	9
上野 昭二	1. 骨髄ドナー休暇制度の導入と啓発を	10
	2. 独自性のある奨学金制度へ改善を	10
松岡 昭博	1. ファミサポで園児の送迎や預かりができないか	11
	2. 空き家解消をどう進めるのか	11
浦木 靖	1. セクハラ・パワハラに対する対応は	12
	2. 教職員の業務改善を	12
米田 強美	1. 発達障がいの子どもの支援を	13
	2. 「生涯活躍のまち」構想の今後は	13
光井 哲治	1. 土地改良工事未払案件の対応に疑問	14
	2. 土地貸付けの専決処分に疑問	14
増井 久美	1. 子ども医療費の完全無料化を	15
	2. 羽合西コミュニティのトイレ改修は	15

## 町営住宅（ミドーレイク）計画の再検討を

町長

### 効果的な周知に取り組む



竹中 寿健

【問】町営住宅に関するアンケートで、長瀬団地は平成34年度に耐用年限が到来、はわい長瀬団地は平成38年度に運営が終了とある。その期間の根拠について問う。

長年、両団地にお住まいの方々の、「買い物、交通、病院などが近くで便利、ミドーレイクなど行きたくない」との声をどのように受けておられるのか。

なぜ町有地はいくらでもあるのに、土地を購入してまでミドーレイクなのか。両団地建物を安易に廃止することには反対である。再度検討されたい。

【町長】期間の根拠については法に基づいたものであり、はわい長瀬団地に入居される方には、運営期間を平成38年度までと重要入居事項承諾書に記載しており、承知しておられると認識している。

平成38年度以降は解体を含め、費用や地域の実情も考慮し、今後検討する必要があると思っているが、町が購入した時点は解体が基本であると説明した。

町営住宅の財政的な視野も含めた維持管理の方法についても検討したい。



平成38年度で解体か（はわい長瀬団地）

# 骨髓ドナー休暇制度の導入と啓発を

町長

## 特別休暇制度で運用

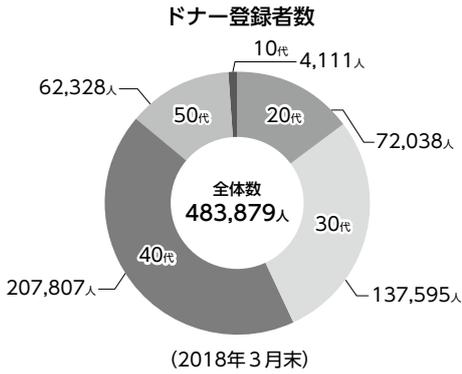


野 昭 二  
う え の しょう じ に

【問】平成29年3月現在「骨髓ドナー休暇制度」を導入し、ドナー助成を実施する自治体は、全国で324市区町村（約19%）にとどまっている。

これまでの、本町の取り組み状況を問う。

また、ドナー不足を改善し、一人でも多くの患者と、その家族の悲劇を回避するための第一歩として、行政は率先して、本町で県内初の、究極のボランティアと言われる「骨髓ドナー休暇制度」を導入し、企業や団体をはじめ、広く町民にも広報啓発すべきと思うが。



官民協働で骨髓ドナーへ温かい支援を

【町長】法施行後、県よりドナー募集などの依頼もなく、特段の取り組みを行っていない。

今後、ドナーの確保に向け、町のホームページ・広報紙などで町民に協力を呼びかけたい。

制度は法律上の役割分担からも、市町村が主導的にやることではないが、県と連絡を密にし、また、日赤の取り組みを勉強し、努力していきたい。

町職員のドナー休暇制度については、特別休暇制度を設けて運用している。

# 独自性のある

## 奨学金制度へ改善を

町長

### 適切な措置があるか検討

【問】鳥取市は、奨学金新制度により、卒業後に定住する人に対して、職種規制を設けず支援する報道があった。

その方式は、全学生を対象に、職業選択ハードルを撤廃するという、すばらしい制度設計で実施するわけだが、町長の所見を問う。

本町の奨学金制度では、誰も利用しないし、できない。何か改善できない理由があるのか問う。

独自性のある奨学金制度へ改善し、子育て世代の要請に応えるべきと思うが、教育長に問う。

【町長】卒業後の職業や所得などに一切関係なく、返済支援のための助成金支給は、一律に対し



《中2のハローワーク》 将来の自分さがし (栽培漁業センター)

て抵抗感がある。

それを克服するには、税金を投入する目的、政策的効果が必要だと思う。

県及び県の奨学金制度に上乘せし、地域に不足する職種などに限定した支援が望ましいと思うが、必要性を考慮し、適切な措置があるか検討す

【教育長】平成28年に「湯梨浜町ふるさと人材育成奨学金支援助成金」、今年の3月には「湯梨浜町給付型奨学金」制度を新たに設け、時代に即応した改善を着実に進めている。

# ファミサポで園児の送迎や 預かりができないか



まつおか  
ひろあき  
博昭

町長

## よく検討してみることが必要



元気に遊ぶ園児  
(とうごうこども園)

【問】こども園への入園児は増えているが、保育士は足りない。このような状態が続けば、若者の移住定住促進という町の進路を見誤る懸念がある。

①保育士の勤務実態を、承知しているのか。

また、保育士が集まらない理由をどう考えているのか。

②町外に通園している子どもを、町内施設に入園してもらおうよう、ファミリー・サポート・センターで送迎や一次預かりができないか。できないなら、それができる制度を創設してはどうか。

【町長】①担任職員は教材準備などがあり、定時終了は困難な場合がある。保育士が集まらない理由は、給与が低い、人手不足、事故への不安、人間関係などがあげられる。保育士を確保するための広報に努める。

②本町はベッドタウン的要素を有し、町外通園はやむを得ない。ファミリー・サポート・センターの活用は、会員同志のマッチングなどもあり難しい。新制度創設は、保護者のニーズの調査や実施方法などをよく検討する必要がある。

# 空き家解消を

## どう進めるのか

町長

## 平成32年度を目標に

## 対策を進める

【問】現在、町内には112戸の特定空き家等があり、周辺の人たちが被害を受けている。

①空き家の管理条例や、対策計画を策定したが、特定空き家等の解消に向け、どのような対策を実施してきたのか。

また、解体は進んでいるのか。

②町民に特定空き家等の解消に向けた手順、施策を知らせるとともに、それらが存在する集落には、所有者との交渉経過などの情報を提供すべきでないのか。



荒廃が進む空き家

※特定空き家等とは、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態などにある空き家をいう。

【町長】①特定空き家対策は平成28年度に調査。平成29年度には、中部地震を踏まえた再調査をし、平成30年1月に「湯

梨浜町空き家等対策計画」を策定。105件を特定空き家等に認定した。さらに5月末までに、5件の除却及び改修が行われた。平成32年度を目標に対策を進めている。

②空き家対策計画は、ホームページに掲載。補

助金制度については、町報などに掲載し情報提供を行っている。

所有者との交渉経緯などについては、個人情報も含めて慎重な対応が求められている。支障のない範囲で情報提供に努めたい。

# セクハラ・パワハラに 対する対応は

町長

## 研修会などを充実



浦木 靖



ストップパワハラ（啓発ポスター）

【問】町には、「湯梨浜町職場におけるハラスメントの防止に関する要綱」があるが、現実的有効に機能しているのか。同要綱を確認したが、ハラスメントに関する相談が気軽にできるのか。また、相談があった場合に、対処できるシステムになっているのか。セクハラに対しては、現実に対応しているのか。

【町長】本町では、「ハラスメントの防止に関する要綱」を定め運用している。この5年間、相談事案がなかったことから、要綱に基づく運用が適切に動いているか判断しかねる。今後、研修会などを充実していきたい。

【教育長】「湯梨浜町教育委員会の職場におけるセクハラ防止に関する要綱」に従い対応。学校関係については、相談窓口は県教育委員会にも設けられている。

本町の教職員、児童、生徒、保護者からハラスメントの相談があったとの報告はない。今後適切な対応をするよう努力したい。

# 教職員の業務改善を

教育長

## さらなる業務軽減に努力

【問】教職員が、子どもに指導・教育しようと思えば、自分の身体に自信がもてる状態が必要ではないか。

疲れ・軽度なうつ状態では、しっかり子どもに向き合うことができないのではないかと。

過労は絶対あってはならないが、現状では必ずしもそうではないと聞く。

教育長は、県と一緒に「学校業務改善プラン」を取り組んでいきたいとしているが、具体的にどう進めようとしているのか。



湯梨浜町小学校水泳大会に参加の先生

【教育長】昨年9月、全県一斉に行った教職員の勤務状況調査で、本町では小学校平均61・1時間、中学校63・4時間の超過勤務であった。

県平均より多い状況であり、健康保持や働き方について、適切な対応をはかるよう管理職に指導を行った。

時間外勤務を減らすため、教員業務アシスタント非常勤職員、学校生活適応支援員などの加配措置を行っている。

また、学校業務支援システムを導入し、事務の合理化など業務の軽減をはかる取り組みを進めている。

# 発達障がいの子どもに支援を

町長

## 個別支援計画で対応



よねだ つよみ 米田 強美



ゆれが とまったら にげます  
スリッパを はいてください



配置が望まれる (L Lブック)

【問】①障害福祉サービ  
スなどのニーズ調査のな  
かで、保育士の対応に不  
安を感じる声があった。  
専門性の向上をどのよう  
に努めているか。  
②義務教育終了後の進路  
についての現状は。  
③知的・発達障がい児な  
どに対して、工夫された  
L Lブック。学校図書  
館・特別支援教室・町の  
図書館にコーナー設置す  
ることを提案する。

【町長】①発達障がい児  
に対しては、加配保育士  
を配置し、個別支援を  
行っている。保育士など  
の育成については、養成  
講座や研修会に参加し質  
の向上に努めている。  
【教育長】②近年、通級  
指導教室を利用した生徒  
は、すべて高校に進学し  
ており、生徒の個別支援  
計画は、保護者から進学  
先へ引き継がれる。配慮  
が必要な生徒の状況は、  
中学校から進学先へ引き  
継がれる。  
③L Lブックは、効果的  
であると判断されれば、  
計画的に購入したい。

【問】①意識調査では、  
東京在住者の地方への移  
住希望は多くあるが、こ  
れまでセールスを進めて  
きた感触はどうか。  
②当初示されたコミュニ  
ティ拠点は、複数の候補  
地から選定とあったが、  
旧ミドレーイクホテル跡  
地に絞った要因を問う。  
サービス付き高齢者向  
け住宅(サ高住)などの  
事業者が決まらない場合  
は、どう進めるのか。  
③地域おこし協力隊によ  
る、空き家の掘り起こし  
は、現在どのように進ん  
でいるか問う。

【町長】①移住相談やセ  
ミナーなどに多くの参加  
者があったが、仕事の問  
題などで移住者の獲得は  
困難な状況。  
一方で、セミナーに参  
加された20代の方1人が  
Uターンされたりと、困  
難な点や効果のあった部  
分もある。今後も町の魅  
力を大都市圏に発信して  
いきたい。

②サ高住や町営住宅を集  
約して整備してはどうか  
という観点から、旧ミ  
ドレーイクホテル跡地を  
想定した計画を示した。  
事業者が決まらないと  
いうことは、現在の検討  
状況からすると、ないと  
見込んでいる。  
③空き家の利活用は重要  
な課題。空き家バンク登  
録の推進などに取り組ん  
できた協力隊員が退職し  
たが、新たに移住定住担  
当を2名採用し、空き家  
対策に努めていく。

町長

## 町の魅力を大都市圏に発信

## 「生涯活躍のまち」構想の今後は



1ターンで開業 (松崎駅前の古着屋)

# 土地改良工事 未払案件の対応に疑問

町長

## 確実な業務管理が行える 体制づくりに努める



みつ 井 哲 治

【問】平成29年7月28日に町内業者からの話で、以前、町が実施した土地改良工事の未払いが発覚した案件である。

4月18日、議会全員協議会で処理対応の説明があったが、次の二点に疑問を強く感じた。

①瑕疵ある行政行為と認めるがその判断と処理対応に疑問。

②時効判断とした民法条項の適用に疑問。

この問題は、行政が適切に事務処理を行わなかったことが原因である。瑕疵ある行政行為は明らかであり、時効を持ち出す判断に疑問。見解を求める。



検査チームで再調査

【町長】①この件は、地方自治法及び町財務規則に定める契約の締結によらず、工事及び売買を行った瑕疵ある行政行為であり、また、建設業法に定める契約を結ばずに施工したという点で業者にも瑕疵があったと認識している。

最終的には業者に説明し、双方が合意。4月25日に支払いを完了した。

②町に過失があり、時効の利益は放棄できるが、業者にも瑕疵があることから厳格に判断した。

今後、再発防止に向け、確実な業務管理が行える体制づくりに努める。

# 土地貸付けの専決処分に疑問

町長

## 緊急性のある事案として対応

【問】2月臨時会で専決案件として報告承認を求めたが、不承認となった案件である。

3月定例会に議決案件として提案された。教育委員会で協議され専決に至る経過、不承認から議決案件提案までに至るプロセスに説明に疑問と違和感がある。教育委員会で合議体として十分協議されたのか。地方自治法96条1項6号により議案提出が正当であるのに、なぜ同179条、長の専決にしたのか。

この間の資料を検証したが、納得できない。再度、見解を求める。

【町長】専決に至った経過は、平成29年9月にセンターからキノコの菌床の試行を早急に取り組み



活用が広がる羽合西コミュニティ

たいと要請があり、緊急性のある事案として、今年1月15日に専決処分を行った。

不承認後の対応は、同179条4項「必要と認められる措置を講ずること」を準用して、議会の意見を踏まえ、3月に提案する旨を議長に提出した。

【教育長】羽合西コミュニティの管理は教育委員会が行っているが、法により「教育財産を取得し、及び処分をすること。教育委員会の所掌に係る事項に関する契約を結ぶこと」は、教育委員会の権限に属さないことから、教育委員会で協議はされていない。

# 子ども医療費の 完全無料化を



増井 久美

町長

町独自の実施は考えていない

【問】本年4月より「国保の都道府県化」がスタートした。これに先立ち全国知事会は「子どもの均等割の軽減」などの要望を国に提出した。これについてどう考えるか。

また、本年度から子ども医療費無料化のペナルティは、未就学児に対する措置にかぎって国庫負担の減額をやめた。本町として窓口負担なしの完全な子どもの医療費無料化に踏み出してはどうか。

また、国保における子どもの均等割の減免や、多子世帯の減免をしてはどうか。



七夕まつりの練習中（はわいこども園）

【町長】国保運営は、4月から県に移管され、国保税の標準化に向け、連携会議により協議していく。

今後問題点などを議論し、より良い国保制度づくりをはかっていく。

子どもの医療費の完全無料化については、現時点で単独の実施は考えていない。

子どもの均等割の減免は、非減免世帯の負担を配慮する必要もあり、国・県の財政支援を求める進めるべきと思う。

## 羽合西コミュニティの トイレ改修は

教育長

洋式へ改修

【問】3月議会で「学校における子どものいのちと健康を考える会」の陳情を、議会は全会一致で採択した。

今回の定例会にプール改修費が計上されているが、このことについて町長と教育委員会の考え方を聞きたい。

羽合西コミュニティ施設のトイレ改修については、3月議会で大きな問題となり、議会は特別委員会の中で附帯決議をつけた。

今回再びトイレ改修が行われるということだが、考え方を聞きたい。



放課後児童クラブの子どもたち（羽合西コミュニティ）

【町長】羽合小学校のプール事故については、議会の陳情採択もあり、再発防止に万全を期す。

国のプール整備基準がないため、日本水泳連盟が定めるガイドラインに沿って、早期改善をはかりたい。

【教育長】トイレの改修は、詳細調査を再度行った。その結果、通常の使用であれば、排水できると判断されたため、男女それぞれ一カ所ずつ洋式化を行う。

# 町民インタビュー

## 「今年の夏は 宇野海水浴場へ行こう」

宇野ふるさとポスト



宇野海水浴場は、開設以来約30年余りが経過しましたが、冷夏による経営不振や地域での担い手不足などにより、一時は閉鎖にも追い込まれました。

しかし、宇野地区の文化財や、平成の名水「宇野地蔵ダキ」などの地域資源を生かした取り組みはできないかと、宇野地区有志で組織する「宇野ふるさとポスト」が経営に立ち上がり、現在に至ります。

目の前で採れる岩ガキやアワビ、この地方独特のイギスなどを安価で提供するとともに、休憩所を無料で開放したことなどが功を奏し、利用客数は増加傾向で、近隣の海水浴場の休止などもあり、昨年は約4000人の利用があり

ました。

今年は、鳥取県モンゴル協会が隔年で実施している、モンゴルの子もたちとの交流事業の一環で宇野海水浴場での海水浴も予定されており、一段とにぎやかになりそうです。

宇野海水浴場の休憩所は、お食事だけのご利用でも結構です。

その際の駐車料金は無料としています。

今年の夏は、ぜひ宇野海水浴場をご利用ください。



## 議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

## 編集後記

初夏を思わせる湖岸の風は、田植後の緑と梨の袋の白とで豊かさを感じます。慣れ親しんだ「平成」最後の6月議会も終わりました。

本年のこども園、小中学校の一斉公開学習は、どの学級もそれぞれ自主的な運営がなされ、生活学習の充実が感じられ、生きる力強さが伝わってきました。

また、日増しに姿を変える新中学校の工事現場を見て、喜々とした中学生を重ね合わせ、期待に胸がふくらむ思いです。

町民の皆さんとともに、来春の開校を見届けたいと思います。

(記 会見)

## 【編集】

議会広報常任委員会